

D1 深層インタラクション

サイバーとフィジカルが融合した社会の深層インタラクション

概要

深層インタラクション総合研究所では、サイバーとフィジカルが高度に融合するこれからの社会における、人と人、人とロボット、人と社会の関わり(インタラクション)を深く理解する研究開発に取り組んでいます。この『D』のブースでは、人に寄り添うロボットとの共生、サイバネティックアバターを介した社会参加、大学や企業を巻き込んだ社会実装について紹介します。

特徴

- サイバーとフィジカルが高度に融合する社会で、わたしたちがどのように活躍できるのか、ロボットや機械の在り方、関わり方、などを、認知科学的／生物学的／ロボット学的／経済学的に研究しています。
- 人とロボットが触れ合えるソーシャルタッチ、人とロボットの共生社会を作るモラルインタラクション、人の存在感を伝えるアンドロイドロボット、新しい社会参加の方法を探るサイバネティックアバターなどを研究開発しています。
- 先端研究だけでなく、研究開発成果の社会実装を大学や企業と連携して推進しています。連携方法は、共同研究、共同開発、技術コンサルティング、など様々です。社会実装のフェーズや状況にあわせて柔軟に進めています。



今後の展開

- 「インタラクションを深く知ることで心地よい未来を創る」というビジョンのもと、深層インタラクションに関する先端研究と社会実装をともに実施して、人の気持ちに寄り添った心地よい百寿社会を目指します。

テーマ「Society5.0への貢献～サイバーとフィジカルの融合に向けて～」との関連

- Society5.0においても、人が中心の社会であることに違いはありません。サイバーとフィジカルが高度に融合した社会との深層インタラクションを明らかにすることで、全ての人々が自由に活躍できる社会の実現に貢献します。